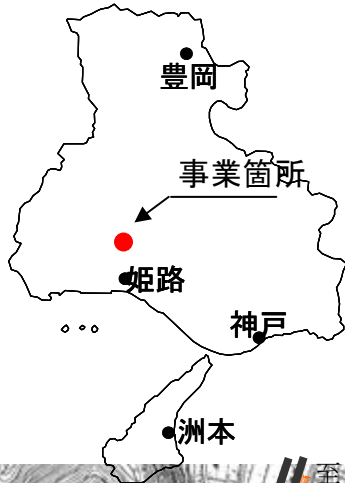


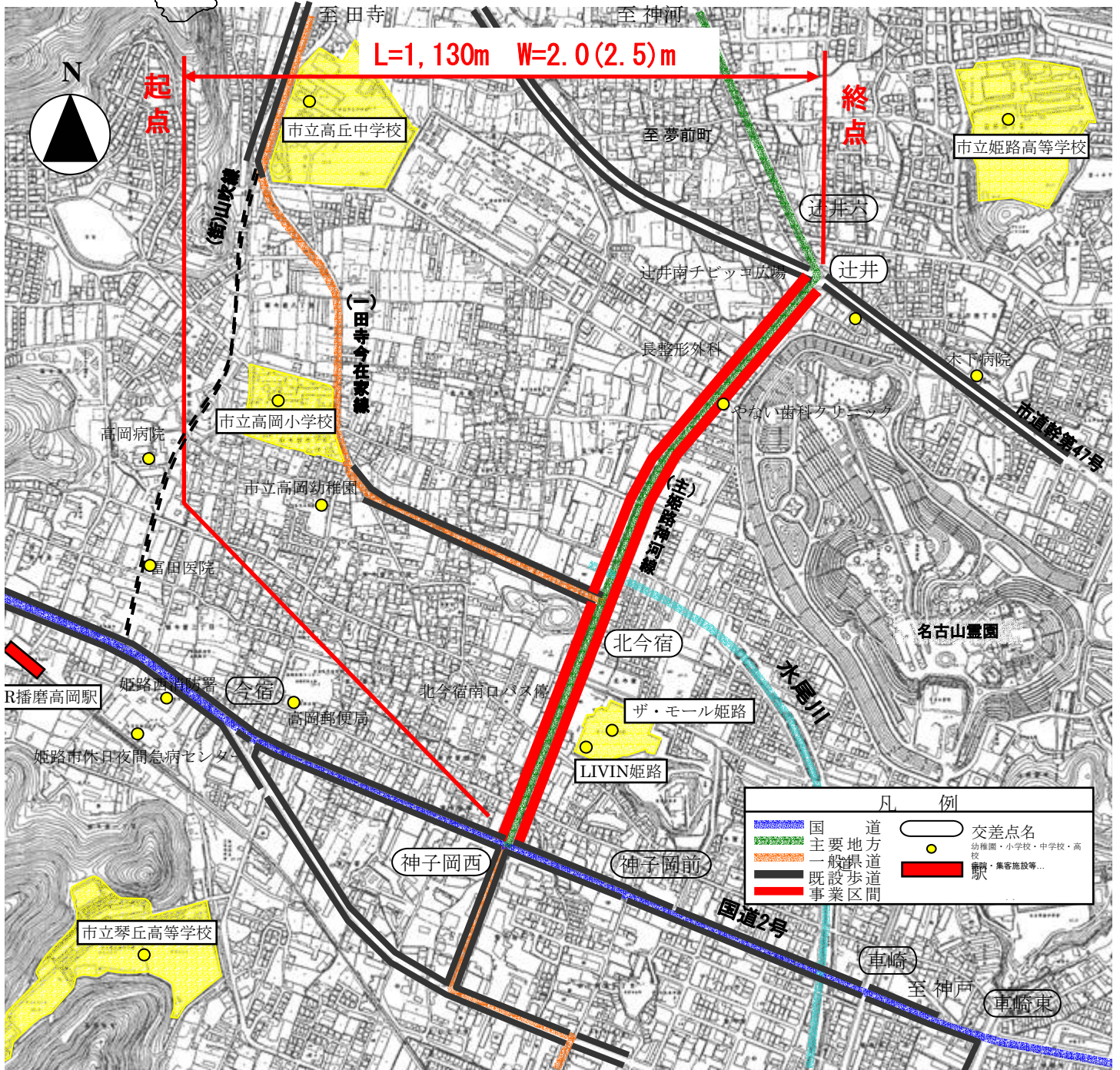
投資事業評価調書(新規)

課室名	道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路保全課長 國塚 康平 (中尾 兼人)	内線	4 3 8 9 (4 3 9 9)
-----	-------	---------------------	-------------------------	----	----------------------

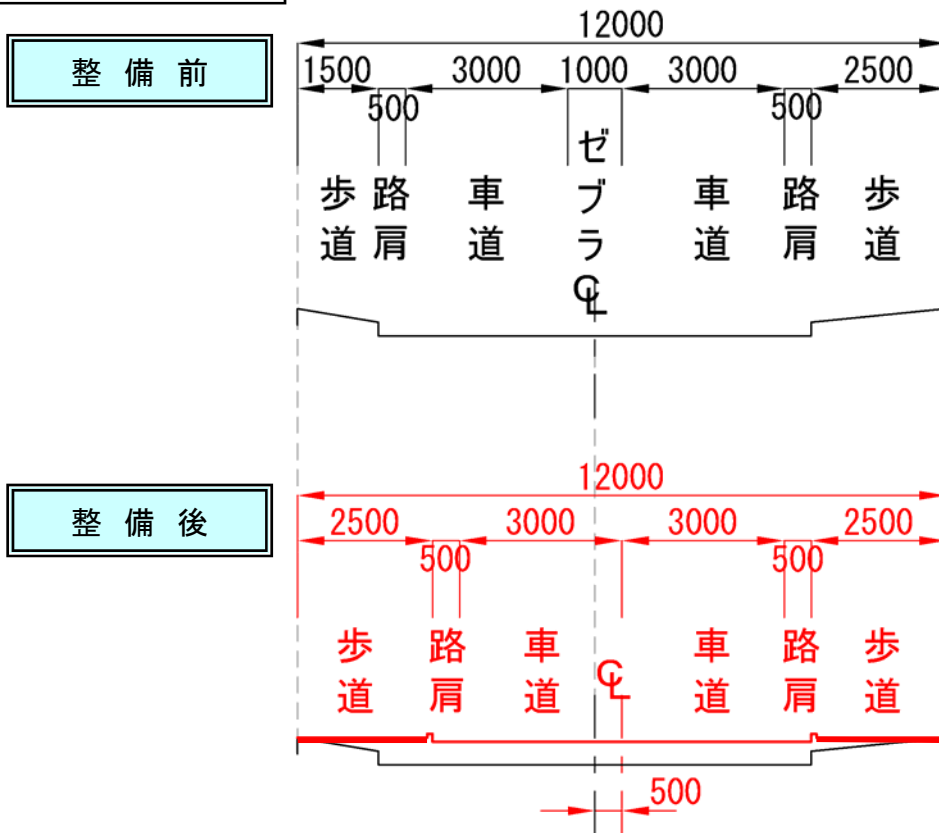
事業種目	交通安全 施設整備	事業名	事業区間	総事業費	約2.0億円
		交通安全施設整備	交通安全施設等整備事業 (主) 姫路神河線	姫路市東今宿～辻井	
所在地				着工予定年度	完成予定年度
姫路市東今宿～辻井				平成20年度	平成23年度
事業目的			事業内容		
○交通安全対策 ・「つくる」から「つかう」への観点から自転車・歩行者交通量の多い当該道路空間を見直し、既設歩道を拡幅するとともに、波打ち歩道や段差の解消を図ることで、安全・快適で利便性の高い歩行空間へ改善する。			歩道整備（両側） L = 1, 130m W = 2.0m (2.5m) 現況 W = 1.0(1.5) 1.5(2.5)m (負担割合 国1/2 県1/2)		
評価視点					
(1) 必要性 ○安全・安心 ○地域ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・沿道には大型ショッピングセンター（ザ・モール姫路）を含めて様々な店舗や医療施設などが多数立地しており、買い物客などによる交通交雑が頻発している。 ・高岡小学校の通学路に指定されている。 ・歩行者、自転車交通量及び自動車交通量が非常に多い。 (歩行者699人/12h、自転車745台/12h、自動車17,777台/日) ・大型車混入率4.2% ・過去3年間に自転車・歩行者の交通事故（4件）が発生している。 ・死傷事故率 63.6人/億台km ・歩道を切り下げている出入り口が多く、歩道が波打っていると同時に、横断勾配が急であり通行の支障となっている。そのため自転車は交通量の多い車道を走行しており、大変危険な状態にある。 ・西側歩道は狭い(全幅1.5m)ため、すれ違いは困難である。 ・東側の歩道も、全幅2.5mあるものの、幅1mの植樹柵が点在するため、有効幅員は1.5mとなっており、西側歩道と同様の状況となっている。 ・住民参加による交通安全総点検（H18.5.25実施）が実施されており、西側歩道の拡幅や平坦性の確保が強く要望されている。 				
(2) 有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・円滑な事業執行に向けて、地元の協力体制等が整っている。 ・交通安全対策が図られ、安全性がさらに向上する。 				
(3) 環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道舗装に透水性舗装を採用し、雨水を地下に還元するなどの環境に優しい構造とする。 				
(4) 優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・当該事業区間は通学路に指定されている他、最寄り駅等への主要な通勤通学ルートとなっており、特に自転車・歩行者の通行が多い。 ・(二)水尾川都市基盤河川改修事業の影響範囲〔姫路市、L=103.8m〕を事業区間内に含めており、一体となってバリアフリー化を行う。 				



自歩道
 (主)姫路神河線
 姫路市東今宿
 (国庫補助事業)



標準断面図



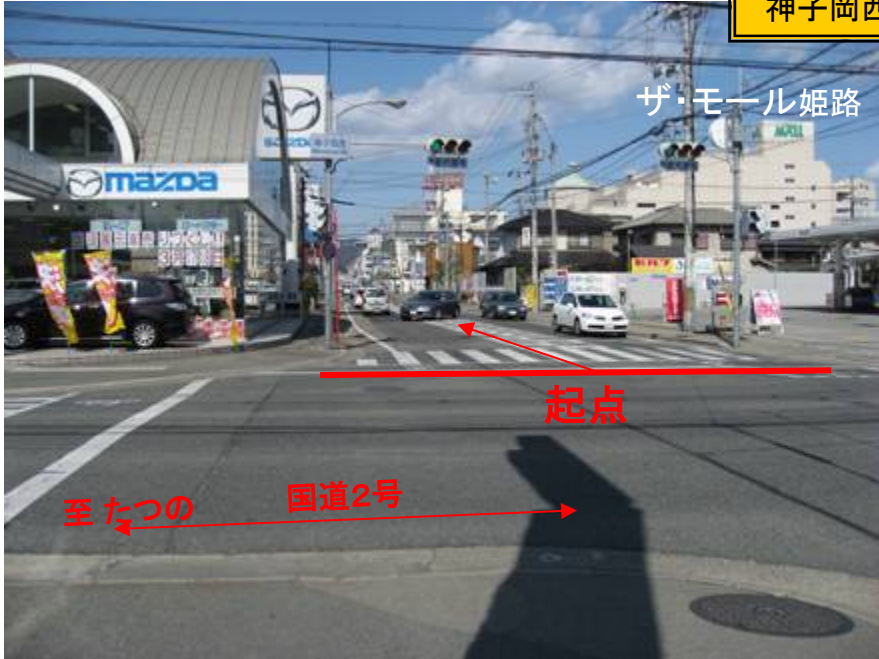
事業スケジュール

工種	平成20年度				平成21年度				平成22年度				平成23年度			
	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3
本工事 1工区 神子岡西交差点～北側200m	■															
本工事 2工区 北今宿交差点～南側250m					■											
本工事 3工区 北今宿交差点～北側340m									■							
本工事 4工区 辻井交差点～南側340m													■			

現況写真（起終点部状況）

起点部

神子岡西交差点



終点部

辻井交差点



現況写真（歩道の現状）

歩道の狭さと、急な勾配



自動車の底が接触した痕跡



現況写真（歩道の現状）

歩道の波打ち



通学状況写真

通学時の状況
(歩行者と自転車の混在)



通学時の状況
(歩道を利用中の自転車)

